

科目名	日本文化論		英文表記	Japanese and Cultural Theory		平成28年03月10日			
科目コード	6003								
教員名: 澤井 万七美						作成			
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
全学科			専1	選	学修	2単位	講義	前期	
科目目標 【MCC目標】	世界から注目される日本の文化の現状と課題を考察する。 ①文化と社会の関係をより深く知る。 ②文化をベースにした多様な情報発信の可能性を考える。 ③ディスカッションを通して、より多角的な思考を深める。 【Ⅲ-A】【Ⅲ-C】【Ⅶ-A】【Ⅷ-B】【Ⅷ-C】【Ⅷ-D】【Ⅷ-E】【Ⅸ-F】【X-A】								
総合評価	ディスカッションのベースにもなる各回のコメントシート(30%)、ミニプレゼンテーション(10%)、オリジナル企画のプレゼンテーション(30%)、期末に提出するレポート(30%)によって評価する。								
科目目標達成度とJABEE目標との対応	目標割合	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)	達成度目標の評価方法	ルーブリック					
	50%	① 文化と社会との関係を多角的に捉える視点を持つことができる。	プレゼンテーションおよびレポートによる評価	理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック		
	50%	② 文化を活用したプロジェクトの立案・プレゼンテーション・レポート作成を通じて、発見した課題とその解決方法を他者に伝えることができる。	プレゼンテーションおよびレポートによる評価	文化を活用したオリジナルのプロジェクトを立案し、プレゼンテーションおよびレポートそれぞれの形式で、他者に効果的に伝達し、質疑応答にも適切に対応した上で、自己改善をすることができる。	文化を活用したオリジナルのプロジェクトを立案し、プレゼンテーションおよびレポートそれぞれの形式で、効果的に他者に伝達し、質疑応答にも対応することができる。	文化を活用したオリジナルのプロジェクトを立案し、プレゼンテーションおよびレポートそれぞれの形式で、他者に伝達することができる。			
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
				◎	JABEEプログラム教育目標	C-1,C-4	A-1,C-3	C-1,C-4	B-1,C-2
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合									
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック		
評価項目		0	0	40	60	100			
基礎的理解				15	15	30			
応用力(実践・専門・融合)				10	15	25			
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)					15	15			
主体的・継続的学修意欲				15	15	30			
授業概要、方針、履修上の注意	前半期間(科目目標①②に相当)は、主に講義とディスカッションを交えた形式をとる。 後半期間(科目目標③に相当)は、前半部分で得られた情報に加え、各自リサーチを行った上で、各自で新たな【文化プロジェクト】の提案を行う。PPTを用いた口頭発表・学生間相互評価を受けてのレポート提出を課す。 期間中に、近隣の文化施設の見学・特別講義を組み入れる(予定)。								

教科書・
教材

教員編成資料

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	ガイダンス 日本文化概論 (1)	2	授業の進め方/「文化」とは何か【IX-F】		
2	日本文化概論(2)	2	日本文化の特質① 【IX-F】【VII-A】【VII-B】【VII-C】【VII-D】【VII-E】		
3	日本文化概論(3)	2	日本文化の特質② 【IX-F】【VII-A】【VII-B】【VII-C】【VII-D】【VII-E】		
4	日本文化概論(4)	2	日本文化を紹介する(ミニプレゼンテーション) 【IX-F】【VII-A】【VII-C】【VII-D】【VII-E】	①教員が 指定する資 料(サイト) を通読して おくこと ②オリジナ ル文化プロ ジェクト立 案・資料準 備を進める こと	
5	文化と経済(1)	2	経済活動における「文化」 【IX-F】【VII-A】【VII-B】【VII-C】【VII-D】【VII-E】		
6	文化と経済(2)	2	文化と産業をめぐる世界の現状 【IX-F】【VII-A】【VII-B】【VII-C】【VII-D】【VII-E】		
7	文化政策(1)	2	文化政策概論 【IX-F】【VII-A】【VII-B】【VII-C】【VII-D】【VII-E】		
8	文化政策(2)	2	世界各地の文化政策 【IX-F】【VII-A】【VII-B】【VII-C】【VII-D】【VII-E】		
9	文化政策(3)	2	日本の文化政策の展望 【IX-F】【VII-A】【VII-B】【VII-C】【VII-D】【VII-E】		
10	事例研究(1)	2	文化と産業・コミュニティとの関係 【IX-F】【VII-A】【VII-B】【VII-C】【VII-D】【VII-E】		
11	事例研究(2)	2	(外部施設見学・実施日時については未定) 【IX-F】【VII-D】		発表準備
12	発表準備	2	各自オリジナルの文化プロジェクト立案・発表準備 【IX-F】【IX-F】【VII-A】【VII-C】【VII-D】【VII-E】【X-A】		発表資料 準備
13	プレゼンテーション(1)	2	文化プロジェクト発表/質疑応答/相互評価 【IX-F】【IX-F】【VII-A】【VII-C】【VII-D】【VII-E】【X-A】		発表資料レ ポート化
14	プレゼンテーション(2)	2	文化プロジェクト発表/質疑応答/相互評価 【IX-F】【IX-F】【VII-A】【VII-C】【VII-D】【VII-E】【X-A】		
15	総括	2	総括		
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				所要時間	
① 教員が指定する資料(サイト)を通読しておくこと				各1時間×10回	
② オリジナル文化プロジェクト立案・資料準備を進めること				10時間	
備考欄					
(モデルコアカリキュラム) ・対応するモデルコアカリキュラム(MCC)の学習到達目標、学習内容およびその到達目標を【】内の記号・番号 で示す。					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)